

研究課題 (テーマ)	富山県内企業をまとめてリサーチ -ものづくり展示会を活用したキャリア形成-		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	高木昇
研究結果の概要			
<p>知能デザイン工学科 (現 知能ロボット工学科) の低学年 (主に学部2年生) の学生に対して、富山県内企業の認知度を高め、これを富山県機電工業会と連携して実施している「知能デザイン工学特別講義2 (学部3年生対象)」の受講者増につなげ、富山県内定着率の向上を目指した。</p> <p>そのために、展示会を広く浅い情報提供の場として利用することで、富山県内企業を良く知らない低学年の学生に対して、多数の企業情報を効率良く提供した。展示会の見学前後には、調査書・報告書を作成させることで、全国区の優良企業が富山県に多数存在することを気付かせるように指導し、「知能デザイン工学特別講義2」への参加意欲を高めるように動機付けして、富山県内定着率の向上に向けて学生を指導した。その結果、以下の成果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 個別に企業を訪問するのではなく、展示会 (富山県ものづくり総合見本市 2017・MEX 金沢 2017・からくり改善くふう展 2017) に学生を引率することで、多数の富山県内企業の情報を短時間のうちに効率良く学生へ提供することができた。 ✓ 展示会に参加する学生には、事前に展示会の Web サイトなどを利用して出展社情報を調査させることで、目的を持って展示会に参加させることができた。また、見学後にも見学レポートをまとめさせることで、富山県内企業について考える機会を与えることができた。 ✓ 展示会の会場が遠方の場合には、車内のテレビで富山県が制作した企業紹介映像「世界・全国に誇る富山県企業」を放送し、移動時間も有効に活用することができた。 ✓ 見学会に参加中は、学生に「2018年4月知能デザイン工学科は知能ロボット工学科になります。」と印刷したバックと名刺を持たせ、学生自身に知能ロボット工学科の広報活動を行わせ、同時に知能ロボット工学科の学生となることを自覚させることができた。 			
今後の展開			
<p>引き続き、展示会を活用したキャリア形成に関する取り組みを行い、「知能デザイン工学特別講義2」の受講者増につなげ、富山県内定着率の向上を目指す。また、知能ロボット工学科の学生のキャリア形成に資する展示会の開拓も行う。</p>			